



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月10日

上場会社名 サンエツ金属株式会社

上場取引所 名

コード番号 5757 URL <http://www.sanetu.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 釣谷 宏行

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部本部長 (氏名) 松井 大輔

TEL 0763-33-1212

四半期報告書提出予定日 平成23年8月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	16,210	32.0	812	△26.8	885	△38.1	1,153	36.3
23年3月期第1四半期	12,283	116.7	1,109	150.8	1,429	200.1	846	78.6

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 1,072百万円 (33.3%) 23年3月期第1四半期 804百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	163.10	—
23年3月期第1四半期	109.17	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第1四半期	38,999	14,947	36.0	1,874.03
23年3月期	29,903	13,050	43.6	1,689.47

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 14,041百万円 23年3月期 13,050百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	4.00	—	6.00	10.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	31,200	32.8	1,820	1.1	1,910	0.4	1,750	56.0	205.20
通期	61,400	26.3	3,640	0.9	3,820	11.6	2,880	28.0	334.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有
新規 1社 （社名）シーケー金属株式会社 、 除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
- ② ①以外の会計方針の変更 ： 無
- ③ 会計上の見積りの変更 ： 無
- ④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年3月期1Q	8,867,000 株	23年3月期	7,903,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	1,374,309 株	23年3月期	178,089 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年3月期1Q	7,073,692 株	23年3月期1Q	7,753,911 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項等については、四半期決算短信（添付資料）P. 2「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響でサプライチェーンが分断されたため、自動車などの組み立て産業は部品の調達難から大幅な減産に陥りました。その一方で、住宅建設分野等の一部の分野においては、震災からの復興需要を当て込んだ仮需が発生し、これが伸銅品の需要を下支えしました。また、当社の主要原料である銅の価格は、高値のまま推移しました。

このような経営環境のもとで、当社グループ（当社及び連結子会社）は、平成23年4月1日付でシーケー金属株式会社の議決権の過半数を取得して連結子会社化し、当社グループの「配管・鍍金事業」と位置付けました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、販売数量が増加し、原料相場も高値のまま推移したため、売上高が162億10百万円（前年同四半期比32.0%増加）となりましたが、営業利益は前年同四半期に生じた原料相場差益が当四半期に発生しなかったため8億12百万円（同26.8%減少）となり、経常利益は、前年同四半期に生じた原料相場のリスクヘッジによるデリバティブ評価益が当四半期にはほとんど発生しなかったため、8億85百万円（同38.1%減少）となりました。なお、四半期純利益は、シーケー金属株式会社の連結子会社化により、負ののれん発生益など特別利益6億42百万円を計上したため、11億53百万円（同36.3%増加）となりました。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、従来の「黄銅棒・線」については、「伸銅」にセグメント名称を変更しました。なお、当該変更は名称変更のみであり、事業区分の方法に変更はありません。

①伸銅

伸銅事業では、販売量は2万2,977トン（前年同四半期比14.2%増加）となり、売上高は銅などの原料価格が高値のまま推移したこともあり、140億53百万円（同22.6%増加）となりましたが、前年同四半期には生じた原料相場による差益が当四半期には発生しなかったため、セグメント損益は7億83百万円（同27.9%減少）のセグメント利益となりました。また、新しく焼鈍不要の鍛造用耐熱亜鉛合金（製品名Z O O）を開発し、販売活動を開始しました。

②精密部品

精密部品事業では、5月に新工場が稼動し、販売量が増加したため、売上高は、10億7百万円（前年同四半期比23.2%増加）となり、セグメント損益は、59百万円（同236.5%増加）のセグメント利益となりました。

③配管・鍍金

配管・鍍金事業では、売上高は11億49百万円となり、業界の市場環境が過当競争で価格競争に陥り、セグメント損益は29百万円のセグメント損失となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の資産につきましては、増収に伴う売上債権の増加やたな卸資産の増加などにより、前連結会計年度末に比べ90億96百万円増加し389億99百万円となりました。負債につきましては、短期借入金などの増加により、前連結会計年度末に比べ72億円増加し240億52百万円となりました。

純資産につきましては、配当金の支払による利益剰余金の減少はありましたが、当第1四半期の純利益11億53百万円の計上などにより、前連結会計年度末に比べ18億96百万円増加し149億47百万円となりました。

この結果、自己資本比率は36.0%（前連結会計年度末は43.6%）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間及び通期の業績につきましては、平成23年6月13日に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結累計期間において、シーケー金属株式会社の議決権の過半数を取得したため、連結の範囲に含めております。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（4）追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

4. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年 3 月31日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成23年 6 月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	197	551
受取手形及び売掛金	14,080	17,228
商品及び製品	2,844	4,130
仕掛品	2,836	4,146
原材料及び貯蔵品	2,555	2,789
前払費用	65	51
繰延税金資産	303	328
その他	191	209
貸倒引当金	△28	△35
流動資産合計	23,047	29,399
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,384	6,037
減価償却累計額	△1,822	△3,035
建物及び構築物（純額）	1,561	3,002
機械装置及び運搬具	11,312	15,357
減価償却累計額	△10,257	△13,760
機械装置及び運搬具（純額）	1,054	1,597
土地	2,987	3,994
建設仮勘定	357	37
その他	605	1,639
減価償却累計額	△550	△1,533
その他（純額）	54	106
有形固定資産合計	6,016	8,738
無形固定資産		
その他	53	55
無形固定資産合計	53	55
投資その他の資産		
投資有価証券	749	743
長期前払費用	26	22
その他	98	134
貸倒引当金	△88	△94
投資その他の資産合計	786	805
固定資産合計	6,855	9,599
資産合計	29,903	38,999

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年 3 月31日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成23年 6 月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,640	4,265
短期借入金	10,100	16,510
1年内返済予定の長期借入金	—	83
未払金	76	185
未払費用	387	499
未払法人税等	1,140	445
賞与引当金	408	370
設備関係支払手形	214	108
その他	48	208
流動負債合計	16,016	22,675
固定負債		
長期借入金	—	27
繰延税金負債	118	456
再評価に係る繰延税金負債	373	373
引当金	344	519
固定負債合計	835	1,376
負債合計	16,852	24,052
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,387	2,756
資本剰余金	2,303	2,632
利益剰余金	7,827	8,946
自己株式	△88	△878
株主資本合計	12,429	13,457
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	120	79
土地再評価差額金	473	473
為替換算調整勘定	28	32
その他の包括利益累計額合計	621	584
少数株主持分	—	905
純資産合計	13,050	14,947
負債純資産合計	29,903	38,999

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
売上高	12,283	16,210
売上原価	10,742	14,708
売上総利益	1,540	1,501
販売費及び一般管理費		
荷造及び発送費	180	250
給料及び手当	93	177
その他	156	260
販売費及び一般管理費合計	430	688
営業利益	1,109	812
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	13	18
為替差益	—	6
デリバティブ評価益	307	26
その他	19	47
営業外収益合計	340	98
営業外費用		
支払利息	16	19
為替差損	2	—
その他	1	5
営業外費用合計	20	25
経常利益	1,429	885
特別利益		
固定資産売却益	—	0
負ののれん発生益	—	576
段階取得に係る差益	—	64
補助金収入	9	—
その他	—	1
特別利益合計	9	642
特別損失		
固定資産除却損	—	0
投資有価証券評価損	—	0
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	0	—
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	1,438	1,527
法人税等	592	418
少数株主損益調整前四半期純利益	846	1,109
少数株主損失(△)	—	△44
四半期純利益	846	1,153

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	846	1,109
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△42	△41
為替換算調整勘定	0	3
その他の包括利益合計	△42	△37
四半期包括利益	804	1,072
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	804	1,116
少数株主に係る四半期包括利益	—	△44

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	伸銅	精密部品	合計
売上高			
外部顧客への売上高	11,465	817	12,283
セグメント間の内部売上高 又は振替高	738	387	1,125
計	12,203	1,205	13,409
セグメント利益	1,087	17	1,105

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,105
セグメント間取引消去	4
四半期連結損益計算書の営業利益	1,109

II 当第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	伸銅	精密部品	配管・鍍金	合計
売上高				
外部顧客への売上高	14,053	1,007	1,149	16,210
セグメント間の内部売上高又は 振替高	1,180	596	0	1,777
計	15,233	1,603	1,149	179,987
セグメント利益又は損失（△）	783	59	△29	814

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	814
セグメント間取引消去	△1
四半期連結損益計算書の営業利益	812

3. 報告セグメントごとの資産に関する情報

前連結会計年度の末日に比して、当第1四半期連結会計期間の報告セグメントごとの資産の金額が著しく変動しております。これは平成23年4月1日付でシーケー金属株式会社を連結子会社化したことに伴い、同社の資産を報告セグメント「配管・鍍金」に計上したことによるものです。

前連結会計年度末に比べて増加したセグメント資産の金額は「配管・鍍金」が5,627百万円であります。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結累計期間においては、平成23年4月1日付でシーケー金属株式会社を連結子会社化したことに伴い、報告セグメントは従来の2事業から「配管・鍍金」を加え3事業となりました。また、従来の「黄銅棒・線」については、「伸銅」にセグメント名称を変更しました。なお、当該変更は名称変更のみであり、事業区分の方法に変更はありません。

5. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

当社は、平成23年4月1日付でシーケー金属株式会社を連結子会社化しました。この結果、「配管・鍍金」セグメントにおいて負ののれんが発生しております。なお、当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては576百万円であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成23年5月26日付で、釣谷宏行、伊勢晴之、渡信行、川崎駿一、他12名から第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、当第1四半期連結会計期間において資本金が369百万円、資本準備金が368百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末において資本金が2,756百万円、資本準備金が2,671百万円となっております。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。